

CSR活動

当社は、2013年度から「ISO26000 社会的責任に関する手引」に準じた社会的責任マネジメントシステム（以下、SRMS という）の構築並びに改善を継続しています。

このSRMSの基本的な性格は次の通りです。

- (1) 当社の持続可能な発展への貢献を助けることを意図としていること
- (2) 法令順守を超えた活動を奨励するものであること

これに基づき、CSRに関する基本事項を定め、適切に運用することにより、法令及び社会的責任の観点から定めた各種ルールの順守徹底と、社会的信用の向上を図っております。

現在までに、取り組んできた主な内容は以下の通りです。

1. SDGsへの取り組み

● SDGs 取組スタート（啓発ポスター）

当社は、社会的責任マネジメントシステム（SRMS）の維持推進する過程においてSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）の存在を知るにあたり、根底にある社会正義と人間尊重の考え方は同じであることと、SDGs達成に果たす企業の役割への関心と期待は高いと考え、2030年は直ぐそこまで来ていることから2018年12月から直ぐに取り組むこととしました。取り急ぎ社員が身近なところからSDGsを理解するための啓発ポスターを作成し、理解を深める取組からスタートしています。

<啓発ポスター>



「地球と人に優しい企業誇りをモットーに、社会貢献します」
第15期からみんなで始めるSDGs

SDGsとは
「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。そもそもどう発祥するかというと、SDGs（エス・ディー・ジーズ）です。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

我が日本国でも取り組みを強化しており、特に企業の取り組みに期待が高まっています。

当社における取り組み
当社でもSRMS（社会的責任マネジメントシステム）として既に活動していますが、SDGsとの関連性を明確にビジュアル化して行くことに今後取り組んで参ります。皆さんが理解し易いスタート・キットとして、日常生活における取り組みを此処に紹介致します。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

- 髪や衣類を乾かす時は、ドライヤーや乾燥機を使用せず、自然乾燥させる。
- 水道やシャワーを小忠実に止めるなど節水に努める。 
- 使用していない電気機器のプラグをコンセントから抜いて、不要な照明は点けないようにする。



- 食べ残しをしないようにする。  
- 買い物をする時は、使い切れる分だけ買う。  
- 使用しなくなったものは捨てずに、寄附やリサイクル店、フリーマーケットを利用する。





- なるべく徒歩、自転車及び公共交通機関で移動する。 
- 買替品の備えや避難場所の把握など、防災に取り組む。
- 家電製品、自転車や自家用車をよく整備する。 



- かながわプラごみゼロ宣言

2019年03月に神奈川県が取り組む「かながわプラごみゼロ宣言」に賛同し、当社もプラごみゼロに向けた具体的な行動に取り組むことに致しました。

＜マイエコ10宣言 社員行動メニュー＞

- ① マイバッグを持参し、レジ袋をもらわない
- ② マイボトル、マイ箸を持ち歩く
- ③ お店でプラスチック製スプーンなどをもらわない
- ④ ごみの少なくなるものを選んで買う
- ⑤ 海岸などでのレジャーのあとは、ごみを持ち帰る
- ⑥ 使っているものの識別マークを確認する
- ⑦ プラごみはルールに従って、分別して出す
- ⑧ 自分がどのくらいプラごみを出しているか考えてみる
- ⑨ 家族や友人にプラごみを減らすよう呼びかける
- ⑩ プラごみによる海洋汚染について調べてみる

＜当社の具体的取組内容＞

- ① プラごみに関する勉強会の実施
毎月定期的開催しているグループミーティングの機会において、プラごみ課題に関する月を設けて、勉強会を実施する。その効果測定は、理解度テストで把握し、理解度向上に努めることとする。
- ② ノベルティをプラごみ削減アイテムに
会社でお客様始め社員等に配付するノベルティ商品を、プラごみ削減に貢献できる商品（例：エコバッグ、エコタンブラーなど）を選定するようにする。
- ③ プラごみ削減の啓発ポスター等の掲示
会社の掲示スペースに、プラごみ削減の啓発ポスターを貼り、社員は勿論のこと来客にも常に意識して頂くと共に、家族や友人にも情報の共有をご協力頂くこととする。



2. 環境への取り組み

- 省エネ活動

2014年度より「Fun to Share」の主旨に賛同し、2011年度から継続している省エネ活動を通じて、低炭素社会の実現に貢献をしております。

その継続して行っている省エネ活動が認められて、平成24年3月26日に神奈川県より「かながわ地球環境賞 奨励賞」を表彰して頂きました。



3. 顧客エンゲージメントの向上活動

- 改善提案制度

2014年度より改善提案制度運用規程を定め、従来の成り行き任せの活動から積極的参加型へ移行致しました。各部門では年度初めに目標を掲げ、達成するために月次管理と運用を行っています。



- 自己啓蒙活動

2014年度より自己啓蒙活動制度運用規程を定め、マンネリズム化した活動から積極的参加型へ移行致しました。その際に、今までの活動内容8項目（営業活動、5S+1M活動、目標達成、労働安全衛生、品質、情報セキュリティ、節電、レベルアップ）に社会貢献の項目を追加し、9項目と致しました。各部門では年度初めに目標を掲げ、達成するために月次管理と運用を行っています。



- 個人情報保護マネジメントシステム

2013年度より個人情報保護マネジメントシステムの運用を開始し、2014年7月1日に第三者認定機関である特定非営利活動法人日本個人・医療情報管理協会より、JAPHICマーク認定を付与され、現在まで継続更新しております。

従来活動してきた情報セキュリティがより強固なものになったとともに、内部監査体制や委員会を設置したことにより、ケーススタディや代表者見直し会議等において、部門間の壁を越えた繋がりができ、知識・知恵の交流が生まれています。



4. 従業員エンゲージメントの向上活動

- 次世代育成支援行動計画

100人以下の企業には届出義務はありませんが、従業員エンゲージメント向上の観点から2010年度に第1回目（計画期間3年）、2013年度に第2回目（計画期間5年）、2018年度に第3回目（計画期間5年）の一般事業主行動計画を労働局に届出て、活動を継続させています。「次世代認定マーク」の取得までは至ってありませんが、取得に向け日々工夫改善を行っています。



- 労働安全衛生マネジメントシステム

2014年度より安全衛生推進者を選任し、労働安全衛生マネジメントシステムの構築を開始させました。リスクアセスメント活動及びお得意先の安全衛生協議会メンバーとして「安全週間」、「衛生週間」並びに「年末年始無災害運動」活動への積極的参加を行っており、安全安心な職場環境作りを推進するとともに、お得意先の標語コンテストでは数多くの表彰状を頂いております。

また、社用車が5台になったのを機に、2015年度より安全運転管理者を選任及び県公安委員会に届出を行い、運転者の健康管理、適性、技能、知識及び法令等遵守状況の向上に努めております。2018年度より都筑警察署殿と連携し、年2回の安全運転教育の内1回は職員を派遣して頂き教育訓練の実施を行っています。



- 健康経営

2016年9月の健康経営セミナーへの参加をきっかけに、企業にとって従業員の健康維持・増進を行うことは、医療費の適正化や生産性の向上、さらには企業イメージの向上等につながることであり、そうした取り組みに必要な経費は単なる「コスト」ではなく、将来に向けた「投資」であるととらえ、積極的に関与していくこととしました。まず、2016年12月に「かながわ健康企業宣言」を行い、「よこはまウォーキングポイント事業」に参画すると共に「横浜健康経営認証」にも申請を行い、2017年03月に「クラスA」を、2019年03月更新時には「クラスAA」を取得。2017年06月から2018年06月と2年連続で「健康優良企業」認定書を授与致しました。PDCAサイクルを回し、更新時には更に上位のクラスを目指します。

また、神奈川県CHO構想推進事業所と、厚生労働省のスマート・ライフ・プロジェクトへ登録し、「マイME-BYOカルテ」の活用や健康寿命延伸の活動を推進しています。2018年度の企業対抗ウォーキングにおいては、奨励賞を受賞致しました。



- ポジティブ・オフ運動への賛同と横浜市勤労者福祉共済（愛称：ハマふれんど）加入
2016年度より「ポジティブ・オフ」運動への賛同と共に、横浜市勤労者福祉共済（愛称：ハマふれんど）に加入し、休暇制度を改善。その上で、社内メールを活用し、従業員に休暇取得と外出・旅行等の実施を啓発及びサポートしています。

POSITIVE ☺FF



- 資格取得奨励制度
資格取得にチャレンジし易くするため、細則を2017年度に定め、当社業務と必須資格を明確化しました。会社の業務に有益な資格を助成することで、従業員の技術スキルを高めると共に、顧客への技術面での品質確保と安心感を提供しています。



5. 地域社会への取り組み

- 横浜型地域貢献企業認定の取得

本制度は、横浜市によるCSR認定制度で、地域を意識した経営を行うとともに、本業及びその他の活動を通じて、環境保全活動、地域ボランティア活動などの社会的事業に取り組んでいる企業等を、一定の基準の下に「横浜型地域貢献企業」として認定し、その成長・発展を支援する制度です。

当社は、CSRに関する取り組みが評価され、平成26年9月24日に取得し、平成28年の更新審査において、「最上位」認定にランクアップし、現在まで継続しております。



- 横浜市水道局殿の「水のふるさと道志の森基金」への寄附
微力ながら、水源保全活動の主旨に賛同し、道志水源林ボランティア活動を支援するため、2013年度より定期的な寄附を行っております。



- 横浜のスポーツ・チームへの協賛

2015年度～2016年度は、横浜FC殿が神奈川県内の小学校や養護施設の子供たちを招待することを通して、地元の子供たちにサッカーを通じて夢を与えることに賛同し、シーズンシート購入を、2017年度からは、横浜ビー・コルセアーズ殿が行う地域貢献活動に賛同してサポートカンパニー登録致しております。



- 一般社団法人 AOH 殿からのお茶菓子購入

地域店舗活用と障がい者・高齢者・健常者が共生するコミュニティ作りを行っている一般社団法人 AOH 殿の取り組みに感銘し、福利厚生の一環として毎月此处からお茶菓子を購入させて頂いております。



平成 31 年 04 月 01 日
株式会社コア・エレクトロニックシステム
CSR推進委員会